

各関係機関団体の長
各病虫害防除員 } 殿

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

令和3年度病虫害発生予察注意報第3号について

茶のカンザワハダニの2月5半旬調査の結果、例年あまりみられない表層でも確認され、表層及び
裾葉の寄生虫数・発生葉率は過去10年で最も高くなっています。

今後、暖かくなると急激に増加する可能性が高いので、ほ場での発生状況を早急に確認し、防除の
徹底をお願いします。

注意報第3号

1 対象作物名：茶

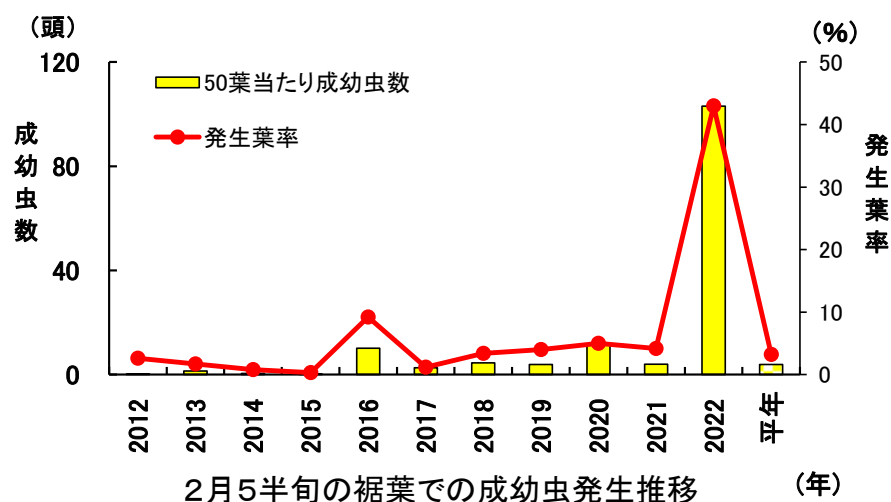
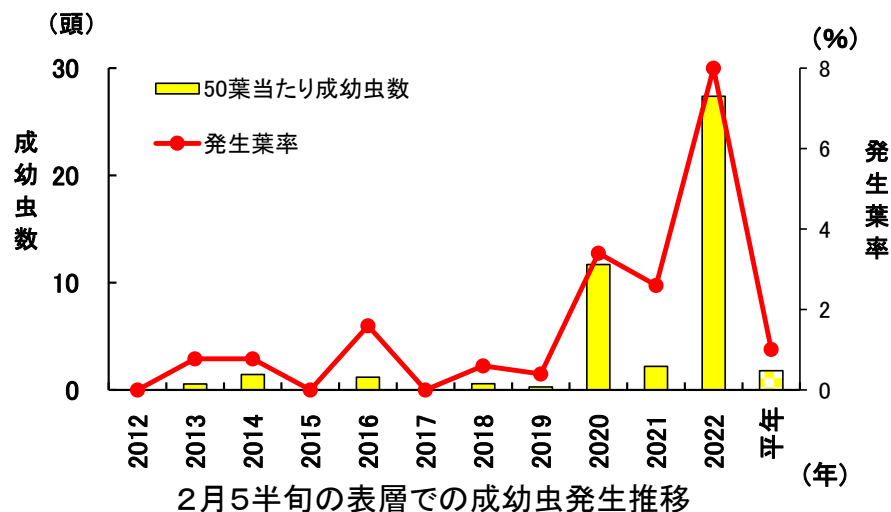
2 病虫害名：カンザワハダニ

3 発生量（現況）：多

4 注意報の根拠

- (1) 2月5半旬調査の結果、表層及び裾葉の寄生虫数・発生葉率は平年及び前年より高く、過去10
年で最も高い。

	表層		裾葉	
	成幼虫数 (頭/50葉)	発生葉率 (%)	成幼虫数 (頭/50葉)	発生葉率 (%)
本年	27.4	8.0	103.1	43.0
前年	2.2	2.6	4.0	4.2
平年	1.8	1.0	3.9	3.2



- (2) 令和4年1～2月の気温は平年より低かったが、2月24日の福岡管区气象台発表の1か月予報によれば、気温、降水量及び日照時間はほぼ平年並と予想されており、発生の増加が見込まれる。

5 防除上注意すべき事項

- (1) 春期の防除適期は、孵化幼虫の発生初期である。例年は、平坦地で3月中旬、山間地で3月下旬頃であるが、すでに孵化幼虫が見られているため早めに圃の発生状況を確認し防除を行う。
- (2) 裾葉、表層ともに発生状況をよく観察し、表層の発生葉率が2%以上の場合は、卵にも効果の高い薬剤で速やかに防除を行う。
- (3) 薬剤は寄生の多い裾葉の葉裏にも十分かかるよう丁寧に散布する。
- (4) 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を避け、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

病害虫防除所のホームページでは、各種病害虫の発生状況を随時更新しています。発生状況の把握や防除の参考にご活用下さい。

○福岡県病害虫防除所のホームページへのアクセス

URL: <https://www.jppn.ne.jp/fukuoka/> または右QRコード①

○Twitter (ツイッター) で定期情報や警報等発出のお知らせを始めました。

Twitterの本アカウント (福岡県農作物病害虫情報) へのアクセス

URL: https://twitter.com/PPDPO_Fukuoka または右QRコード②



最新の病害虫発生状況



